

■中期経営目標

基準値は、原則として、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前のH29～R1年度の平均としています。
 目標設定でコロナ禍の影響を見込んだ施設(対象施設は下線)は、今後の影響を見極めたうえで、R5年度末を目安に目標の再設定を行います。

研修施設

No.	施設名	目標	指標	基準値		目標値		目標達成に向けた主な取組内容
				H29-R1平均	中間(R7)	最終(R9)		
1	九谷焼技術研修所	本科の入学志願者数を定員の1.5倍に高めます。	本科入学志願倍率	1.13倍	1.3倍	1.5倍	○人材の育成について ・研修生が業界関係者と交流する機会を多く設け、九谷焼業界への就職につなげる ・業界の求める人材を意識したカリキュラムの編成 ○研修生の確保に向けた取組 ・オープンキャンパスをより充実させ、茶碗まつり等に併せて施設を一般開放 ・しいのき迎賓館等で企画展を実施、地元銀行で研修生の作品を展示、研修所で開放講座を開催 ・卒業生を広告塔として活用した研修所のPR ・ホームページの充実(上絵付技法の絵入解説、講師の講義風景を掲載等)	
		研究科の定員充足率を70%に高めます。	研究科定員充足率	33.3%	50.0%	70.0%		
		実習科の定員充足率を70%に高めます。	実習科定員充足率	64.4%	70.0%	70.0%		
		本科から研究科への進学率を70%に高めます。	本科から研究科への進学率	42.9%	60.0%	70.0%		
2	九谷焼技術者自立支援工房	共同工房利用者数を5年間で5%増加させます。	共同工房施設利用者数	1,030人	1,060人	1,080人	○共同工房利用者の確保・支援 ・九谷陶磁器商工業協同組合連合会、企業関係者と連携を図り利用を促す ・共同工房利用者の個展・グループ展の開催情報といったホームページの内容充実に努める ○個室工房入居者への支援 ・個室工房入居者の自立支援に向けた技術面、経営面の指導の継続 ・ギャラリー「彩」での工房利用者の作品展示を行うほか、九谷茶碗まつり等への参加を促す。 ○「ギャラリー「彩」」の充実 ・県や各市町の広報媒体を利用しPRに努める	
		個室工房入居率100%を維持します。	個室工房入居率	100.0%	100%	100%		
		工房利用者満足度は、引き続き90%以上を維持します。	工房利用者満足度	96.0%	90%以上	90%以上		